

法務省権調第20号
令和8年4月1日

文部科学省初等中等教育局児童生徒課長 殿

法務省人権擁護局調査救済課長
(公 印 省 略)

令和8年度「こどもの人権SOSミニレター」事業への協力方について
(依頼)

平素は、法務省の人権擁護機関（以下「当機関」といいます。）の行う人権擁護活動につきまして、格別の御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、こどもをめぐる人権問題については、学校におけるいじめの事案や家庭内における児童虐待の事案が数多く発生しているほか、いわゆる宗教2世・3世と呼ばれるこどもの問題や、近時では、こどもを当事者とする暴力行為等の様子を撮影した動画がSNS等を通じて拡散される事案も発生しています。

これらの事案は、事柄の性質上、周囲の目に付きにくいところで発生することが多く、被害者であるこども自身も、教師や親、友人などの身近な人にも相談しにくいことから、重大な結果が生じてから発覚する例が少なくありません。

そこで、当機関では、身近な人にも相談できないこどもたちの悩みごとを的確に把握し、学校及び関係機関と連携を図りながら、こどもをめぐる様々な人権問題の解決に当たることなどを目的として、平成18年度から、標記事業に取り組んでいます。

「こどもの人権SOSミニレター」（以下「ミニレター」といいます。）は、便箋と料金受取人払の封筒が一体となったもので、全国の小・中学校、義務教育学校、特別支援学校（小学部及び中学部）及び中等教育学校（前期課程）の児童・生徒に配布しています。ミニレターに悩みごとを書いてポストに投函すると、最寄りの法務局に届き、法務局職員及び人権擁護委員が一通一通読んで

全てに返事をしています。

本年度も、引き続き標記事業を実施することとなり、本年 5 月下旬から順次、各小・中学校等にミニレターを送付する予定です。ただし、一部地域ではこれまでと異なる形状のミニレターを配布する予定であり、当該地域には別途依頼させていただきます。

つきましては、今後、法務局職員及び人権擁護委員が管内の小・中学校等に対し、ミニレターの配布についての協力依頼を行うことを予定しておりますので、貴職におかれましては、各学校及び教育委員会（私立学校にあっては知事部局）に対して、その趣旨について周知を図っていただきますとともに、この事業への協力方につき特段の御配慮を賜りたくお願い申し上げます。

なお、当機関との連携については、「学校等と法務省の人権機関との連携強化について（通知）」（平成 30 年 12 月 27 日付け 30 受初児生第 5 号文部科学省初等中等教育局児童生徒課長通知）が示されており、また、「いじめの防止等のための基本的な方針」（平成 25 年 10 月 11 日付け文部科学大臣決定（最終改定平成 29 年 3 月 14 日））においても、いじめの防止等に関する基本的考え方として、いじめの問題への対応においては、法務局を含む関係機関との適切な連携が必要であることが示されていますので、御参考までに申し添えます。

令和8年度「こどもの人権SOSミニレター」事業実施要領

法務省人権擁護局
全国人権擁護委員連合会

1 目的

学校におけるいじめや児童・生徒に対する暴行・虐待などこどもをめぐる人権問題は、依然として大きな社会問題となっている。

法務省の人権擁護機関では、このようなこどもの人権問題への対応策として、令和8年度も、「こどもの人権SOSミニレター」（以下「ミニレター」という。）を全国の小・中学校等の児童・生徒に配布する。本事業は、教師や保護者など身近な人にも相談できずにいるこどもたちの悩みごとを的確に把握し、学校及び関係機関と連携を図りながら、こどもをめぐる様々な人権問題の解決に当たるとともに、法務省の人権擁護機関の相談窓口等（ミニレターによる相談のほか、電話やインターネット、チャットによる相談等）をこどもやその保護者に周知することを目的とする。

なお、令和8年度においても、基本的には料金受取人払の便箋兼封筒型のミニレターを配布することとしているところ、一部の地域（長野地方法務局、和歌山地方法務局、津地方法務局及び長崎地方法務局の管轄区域。ただし、同区域にある特別支援学校を除く。）においては、従来配布していたミニレターに代えて、料金受取人払のはがき型のミニレターを配布する取組を実施する。

2 対象者

全国の小学校及び中学校（中等教育学校（前期課程）、義務教育学校及び特別支援学校（小学部及び中学部）を含む。以下「学校等」という。）の児童・生徒全員並びに児童福祉法（昭和22年法律第164号）第4条第1項第3号に規定する少年

3 実施機関

法務局・地方法務局（以下「法務局」という。）及び都道府県人権擁護委員連合会（以下「都道府県連合会」という。）

4 実施期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

5 実施方法

(1) 法務省人権擁護局（以下「人権擁護局」という。）が行うもの

ア 本事業の実施に当たり、文部科学省を通じ、各都道府県・指定都市教育委員会、各都道府県私立学校、附属小・中学校を置く各国立大学法人附属学校、附属小・中学校を置く各公立大学法人附属学校及び義務教育諸学校を設置する学校設置会社を所轄する構造改革特別区域法（平成14年法律第189号）第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の担当課に対し、こども家庭庁を通じて、各児童相談所に対して協力を要請する。

イ 令和8年5月下旬から同年7月上旬にかけて、発送業者を介して、法務局が指定する場所に製作業者が製作したミニレターを送付する。

なお、児童相談所を通じて児童に配布するミニレターについては、法務局に送付する。

(2) 法務局が行うもの

ア (1)アの協力要請後、公立の学校を管轄する市区町村教育委員会及び児童相談所に対して、本事業の目的及び概要を説明の上、協力を要請する。

イ 本事業の実施に当たり、学校等に対して本事業の目的及び概要を説明の上、ミニレターの児童又は生徒への配布について協力を要請する。

なお、要請の際には、学級担任等にも本事業の趣旨が伝わるよう配慮する。

ウ 都道府県連合会と役割分担及び具体的実施方法等について協議の上、本事業を実施する。

エ 学校及び児童相談所等へのミニレターの配布及び児童・生徒等から送付されたミニレターへの返答は、法務局職員と人権擁護委員とが連携して行う。

オ 児童・生徒等から送付されたミニレターについては、人権相談として取り扱い、相談内容の秘密を厳守する。いじめ、児童虐待等の重大な事案が疑われる場合には、人権侵犯事件として調査を開始（立件）し、必要な調査を遂げた上で適切な措置を講ずる。

なお、管下支局管轄区域内の児童・生徒等から送付されたミニレターについては、当該支局の職員及び人権擁護委員において対応するよう指示して差し支えない。

カ 都道府県連合会と連携し、学校等へのミニレターの配布枚数及び児童・生徒等から送付されたミニレターの通数を、四半期ごとに、各四半期の末月の翌月10日までに、別途指定するフォルダに格納してある別紙様式に記入する。また、毎月のミニレターへの対応結果については、人権擁護事務支援システムにより所定の項目を入力して報告する。

別添

なお、はがき型のミニレターを配布する取組の実施局においては、「便箋兼封筒型」又は「はがき型」の種類ごとに区別して報告すること。

こどもの人権 SOS ミニレター



人権イメージキャラクター
「人KENあゆみちゃん」

悩みを書いて
ポストに入れてね!
(切手はいらないよ)

ひみつは
守るよ



人権イメージキャラクター
「人KENまもる君」

こどもの人権 SOSミニレターって?

あなたが悩んでいたり困っていることを、あなたの力になってくれる人が読んで必ず返事をくれる手紙だよ。

どんなことでもいいから、この裏面に相談したいことを書いて送ってね。

お友達が困っているときも相談してね。

※相談内容によっては、関係機関とともに対応することがあります。

この冊子には、SOSカードの横に音声コードが印刷されています。
Uni-Voiceアプリを使用して読み取ると、記録されている情報を音声で聞くことができます。

みなさん一人ひとりが、
幸せに生きていくための
大切な権利のことだよ。



みなさんの人権を守る仕事を
している人権擁護委員や法務
局の職員が返事をするよ。

SOSミニレターの 使い方

例えば 学校などでいじめられている
親やきょうだいに叩かれたりして悩んでいる
SNSやインターネットで悪口を書き込まれた
学校や家族、その他のことで悩んでいる
親から宗教を理由に学校の行事に参加させてもらえない

1 困っていること、悩んでいることがある人は・・・

2 それをSOSミニレターに書いて、送ろう!

3 人権擁護委員や法務局の職員があなたのお悩みについて考え、返事をするよ

SOSミニレターの他に、「電話」、「LINE」、「メール」で相談することもできるよ。

電話で相談

こどもの人権

110番



フリーダイヤル 0120-007-110

(受付時間) 平日 午前8:30～午後5:15

通話無料

LINEで相談

LINEじんけん相談

LINEじんけん相談

検索



こちらから友だち追加してね

(受付時間) 平日 午前8:30～午後5:15

学校のタブレット(1人1台端末)で相談

こどもの人権 SOSチャット

こちらからアクセスできるよ

(受付時間) 平日 午前8:30～午後5:15



メールで相談

24時間受付

こどもの人権 SOS=eメール

インターネット 人権相談

検索



こちらからでもアクセスできるよ



東京法務局・東京都人権擁護委員連合会



R70

切り取って、カードとして使ってね。

こどもの人権 SOS カード

いつでも持っていてね!

人権イメージキャラクター「人KENあゆみちゃん」

困ったことをなんでも相談してね。

通話無料 こどもの人権110番

フリーダイヤル 0120-007-110

相談時間: 月曜日～金曜日 午前8:30～午後5:15

※携帯電話・スマートフォンからもかけられます。
※あなたの近くの法務局につながります。

音声コードを利用される方に配布する際は、音声コードの位置がわかるように、右下の点線部を丸く切り取ってください。

のりづけ

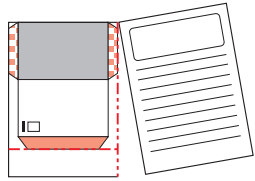
やまおり②

SOSミニレターの送り方

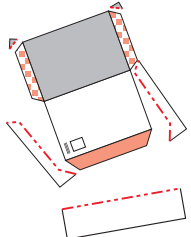
※はさがなくても作れるよ。

- きりとり きりとり線に沿って、切り取ることができるよ。
- やまおり 番号順に折って、封筒をつくってね。

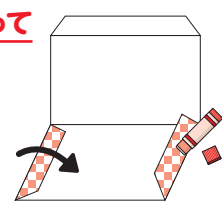
① 真ん中のきりとり線に沿って、切り取ります。



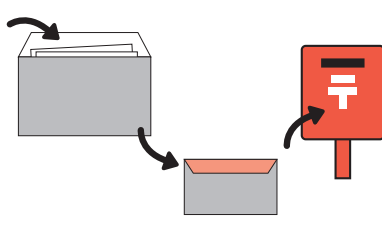
② 下のカードを切りはなし、封筒を切り取ります。



③ やまおり線を順番に折り、「のりづけ」と書いてあるところにのりをつけて封筒を作ります。
のりをつけて、しっかりはってください。



④ のりが乾いてから手紙を封筒に入れて、赤い部分の裏側をしっかりとりのりではってからポストに入れてください。



切手は2027年3月31日までいりません。

やまおり③

1608792
546



東京都新宿区四谷1-6-1
四谷タワー13階(外国人在留支援センター)

東京法務局人権擁護部 行
(小学生用)

切手は2027年3月31日までいりません。

やまおり④



きりとり

きりとり

インターネットでも相談できるよ。

子どもの人権 **SOS=eメール**

インターネット 人権相談 検索

※申し込んだ後に、相談内容を書き込むためのURLアドレスが送られてきます。

チャットでも相談できるよ。

LINEはこちらから 学校のタブレットはこちらから



あなたのことを教えてください。	ふりがな 名前	性別
学校名	年 組	
返事はどの方法がいいですか? (✓をつけてね)	<input type="checkbox"/> 手紙 (<input type="checkbox"/> あなたの家の <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 電話 (<input type="checkbox"/> 自分の携帯電話 <input type="checkbox"/> あなたの家の <input type="checkbox"/> その他 ())	
返事がほしい場所の住所や電話番号を間違えないように最後まで書いてね。 〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 電話 () — 住所	(ここには何も書かないでね。)	

困っていること、悩んでいることは?

☐ いじめのこと ☐ いじめ以外の学校のこと ☐ お家のこと ☐ その他 ()

今の気持ちは?

☐ こまったー ☐ こわい... ☐ いやだ! ☐ かなしい ☐ その他 ()

今、困っていること、悩んでいることを書いてね。

① いつ?

② だれに?

③ 何をされた?

④ そのときのことをくわしくおしえてね

手紙に書いた悩みを誰かに話していますか?

☐ 家族：誰に () ☐ 先生 ☐ 友だち
☐ その他：誰に () ☐ 誰にも話していない

書ききれないときは別の紙に書いて一緒に送ってね。

子どもの人権

SOS

ミニレター



人権イメージキャラクター
「人KENまる君」

悩んでいるあなたへ。

その悩み、私たちに相談してみませんか？

相談内容の秘密は守ります。



人権イメージキャラクター
「人KENあゆみちゃん」

「子どもの人権SOSミニレター」について

この裏面に相談したいことを書いて送ってください。切手は不要です。

あなたが悩んでいた困ったりしていることを書いた手紙を、人権擁護委員や法務局の職員が読んで、手紙や電話でお返事をします。

相談内容や個人情報などの秘密は守りますので、安心して相談してください。

あなたの友達が困っているときも相談してください。

※相談内容によっては、関係機関とともに対応する場合があります。

人権って何？

人権とは、誰もが生まれた時から持っている、一人ひとりが人間らしく生きるための権利です。法務省の人権擁護機関の人権擁護委員や法務局職員は、みなさんの人権を守る仕事をしています。

この冊子には、SOSカードの横に音声コードが印刷されています。Uni-Voiceアプリを使用して読み取ると、記録されている情報を音声で聞くことができます。

SOSミニレターの利用のながれ

裏の用紙に悩みを書いて送ってください。

あなたの手紙を人権擁護委員や法務局の職員が読んで、悩みを解決できる方法を考えます。

希望の連絡方法（電話・手紙）であなたに返事をします。

例えばこんなときに利用してください

- 友達からいじめを受けている
- 暴力を受けて悩んでいる
- SNSやインターネットで悪口を書き込まれた
- 親の宗教を理由に学校行事に参加できない
- 学校や家族、その他のことで悩みがある

SOSミニレターの他に、「電話」、「LINE」(チャット)、「メール」で相談することもできます。

電話で相談

子どもの人権

110番



フリーダイヤル

0120-007-110

(受付時間) 平日 午前8:30～午後5:15

通話無料

LINEで相談

LINEじんけん相談

LINEじんけん相談

検索



こちらから友だち追加してください
(受付時間) 平日 午前8:30～午後5:15

学校のタブレット(1人1台端末)で相談

子どもの人権SOSチャット

こちらからアクセスできます

(受付時間) 平日 午前8:30～午後5:15



メールで相談

24時間受付

子どもの人権SOS=eメール

インターネット 人権相談

検索



こちらからでもアクセスできます



東京法務局・東京都人権擁護委員連合会

困ったときに相談できる連絡先カードです。切り取って、携帯してください。



R70
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用



東京法務局・東京都人権擁護委員連合会

困ったことをなんでも相談してください。

通話無料 子どもの人権110番

フリーダイヤル 0120-007-110

相談時間・月曜日～金曜日 午前8:30～午後5:15

※携帯電話・スマートフォンからもかけられます。
※あなたの近くの法務局につながります。

音声コードを利用される方に配布する際は、音声コードの位置がわかるように、右下の点線部を丸く切り取ってください。



書ききれないときは別の紙に書いて一緒に送ってください。